

第1章

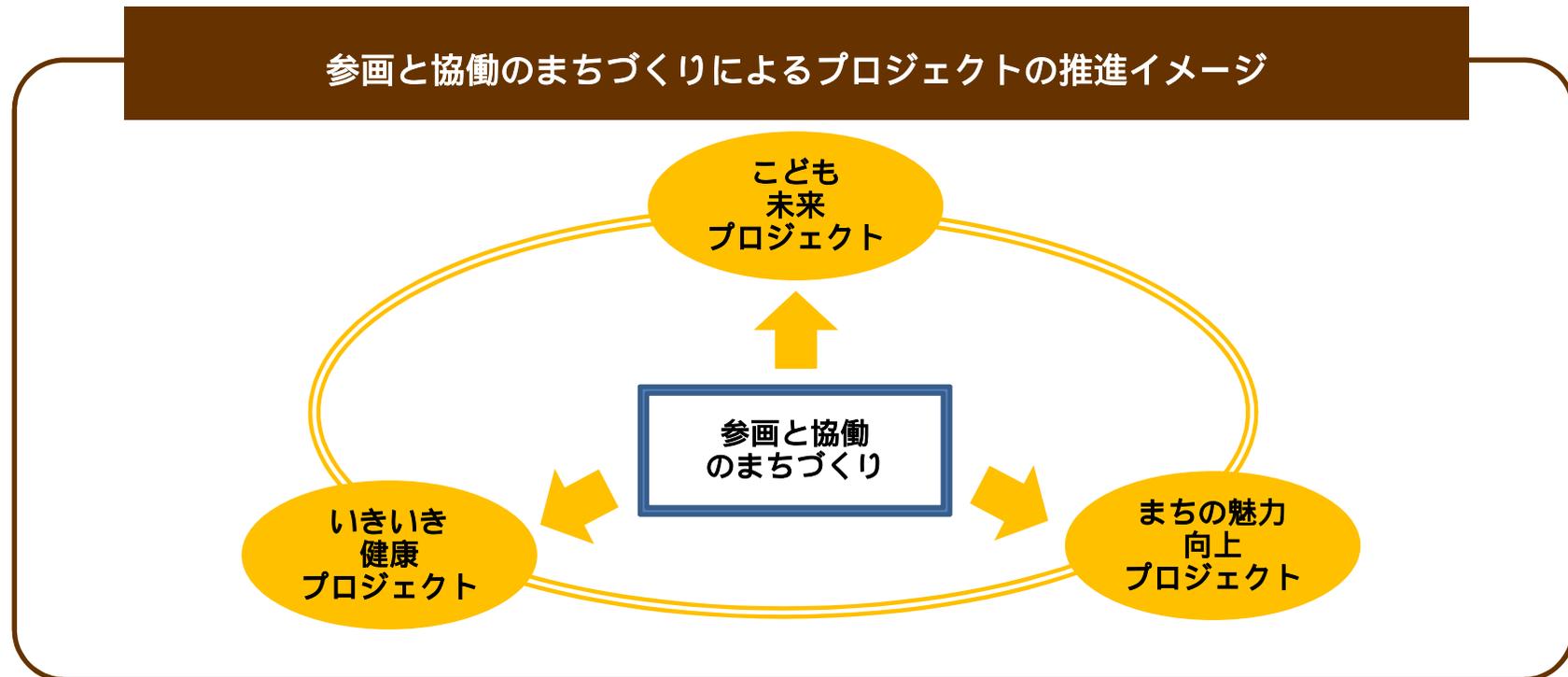
後期重点プロジェクト

1 後期重点プロジェクトについて

後期重点プロジェクト

本市においては、地域社会のめざすべき方向や果たすべき役割について、多様なまちづくりの主体と行政が共通認識を持ち、適切な役割分担のもとで、それぞれの持つ能力を最大限に発揮しながら、個性的で魅力的なまちづくりを展開していくこととしています。

このような状況の中、本市の持つ「市民力」や「地域力」が発揮できる環境を整え、市民等の公益的な活動をさらに推進し、それを礎とした参画と協働のまちづくりをめざすために、平成30年度から34年度までの計画期間中に、重点的に取り組む具体的なまちづくりの項目を「後期重点プロジェクト」と位置付け、施策を横断しながら展開します。



1 後期重点プロジェクトの取組項目について

プロジェクト1

こども未来プロジェクト

こころ豊かな子どもを育む環境を創出するため、妊娠、出産といったそれぞれの子育てのライフステージにおいて、切れ目のない支援を行うとともに、子どもの生きる力を育むための環境整備をめざします。

新規事業

子ども自主活動支援事業の創設
部活動運営の充実
児童生徒の学習支援
子どもの居場所づくり支援
地域子育て支援拠点の充実

継続事業

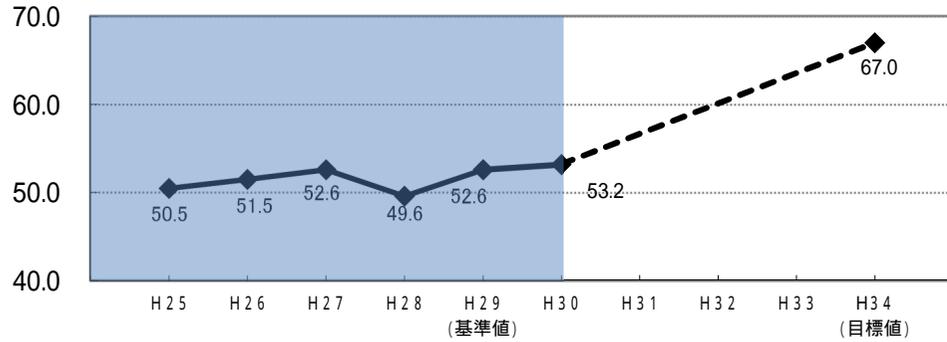
妊婦健康診査費助成事業の拡充 5歳児発達相談事業の実施
病児保育事業の実施 市立認定こども園の整備
民間認定こども園(保育所)・小規模保育事業の整備支援
留守家庭児童育成クラブの拡充 スクールソーシャルワーカーの拡充
ALT(外国語指導助手)などの配置の拡充
センター方式による中学校給食をPFI手法で実現

評価指標

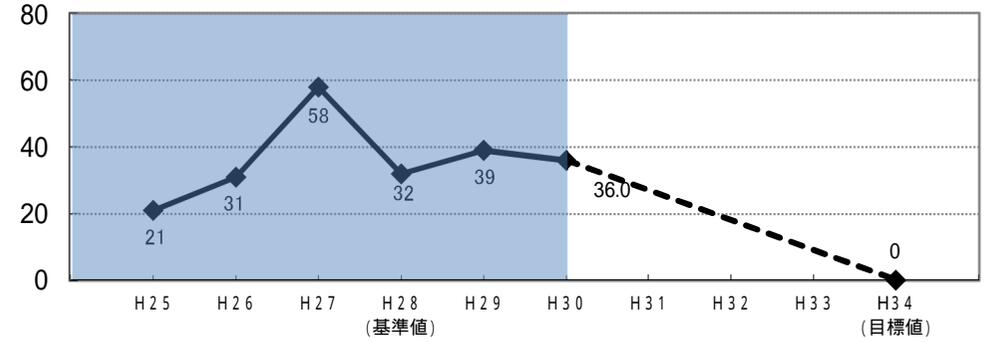
名称	方向性	基準値(H28)	直近値(H30)	目標値(H34)	定義
「子育てがしやすいまちだ」と思う市民の割合	↗	52.6% (H29)	53.2%	67.0%	市民実感調査より 家族に中学生以下の子どもがいる市民が対象
保育所の入所待機児童数	↘	32人	36人	0人	各年度4月1日現在の待機児童(国基準)
留守家庭児童育成クラブの入所待機児童数	↘	73人	32人	0人	各年度5月1日現在の待機児童(国基準)
妊娠から出産及び産後の保健・医療サービスについて満足している親の割合	↗	86.1%	84.3%	87.0%	アンケート調査より
「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合(小学生)	↗	85.0% (H27)	85.0%	88.0%	子どもの実感調査より
「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合(中学生)	↗	85.0% (H27)	82.0%	88.0%	子どもの実感調査より

1 後期重点プロジェクトの取組項目について

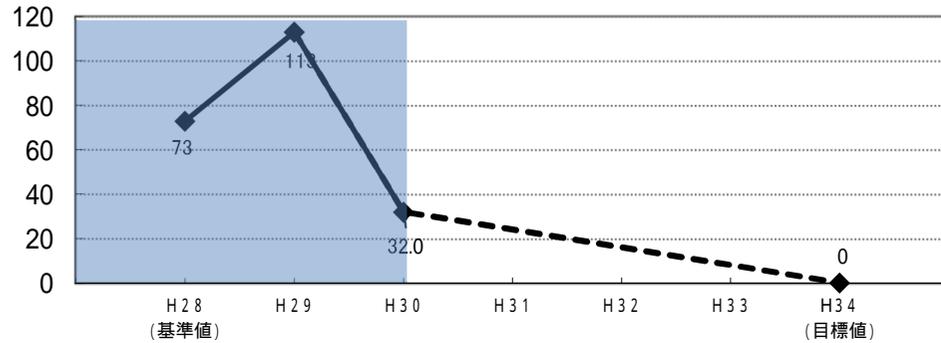
「子育てがしやすいまちだ」と思う市民の割合 (%)



保育所の入所待機児童数 (人)



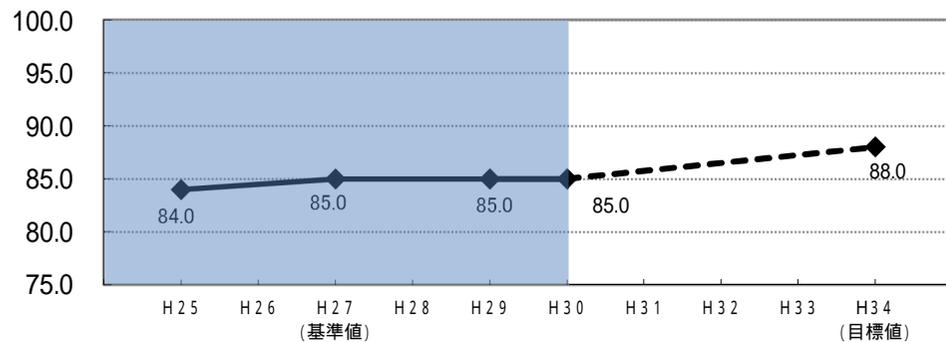
留守家庭児童育成クラブの入所待機児童数 (人)



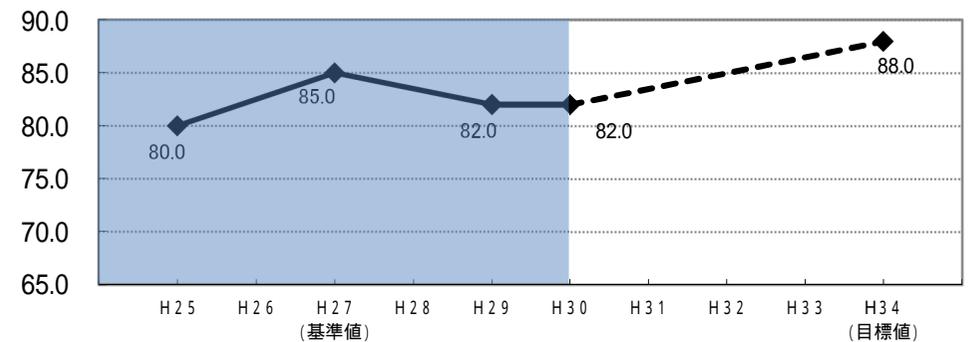
妊娠から出産及び産後の保健・医療サービスについて満足している親の割合 (%)



「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合 (小学生) (%)



「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合 (中学生) (%)



1 後期重点プロジェクトの取組項目について

プロジェクト2

いきいき健康プロジェクト

市民一人ひとりが健康でいきいきとしたまちづくりを進めるため、老若男女を問わず健康増進につながる施策を展開するとともに、保健・福祉・医療の連携体制の強化をめざします。

新規事業

人間ドックへの胃カメラ検査の導入
胃がん検診の市内医療機関の実施
障がい者に対する通院費医療の助成
風しんの定期接種、抗体検査実施

継続事業

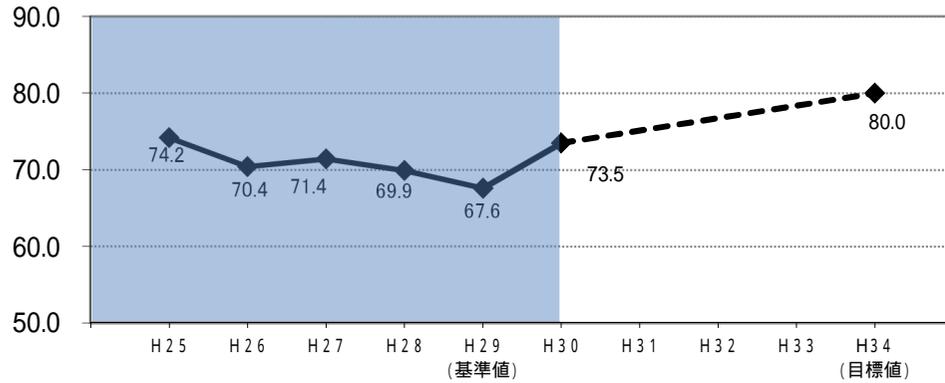
健幸マイレージの実施 がん検診の個別受診勧奨の実施
特定健康診査及び後期高齢者健康診査における尿酸検査の追加
妊婦健康診査費助成事業の拡充（再掲）
5歳児発達相談事業の実施（再掲）
在宅医療・介護連携支援センターでの支援の継続
東谷地域包括支援センターの出先機関の開設
（仮称）火打健幸公園の整備

評価指標

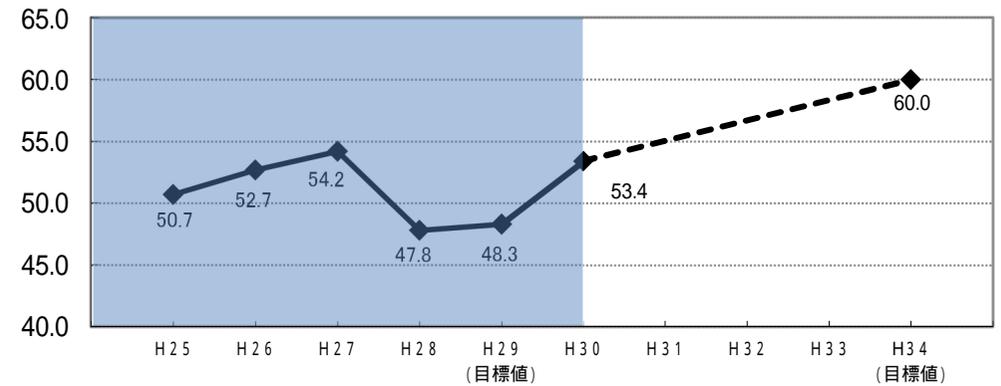
名称	方向性	基準値（H28）	直近値（H30）	目標値（H34）	定義
健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合	↗	67.6% (H29)	73.5%	80.0%	市民実感調査より
市内の医療環境に満足している市民の割合	↗	48.3% (H29)	53.4%	60.0%	市民実感調査より
かかりつけ医を持っている市民の割合	↗	66.7% (H29)	70.7%	75.0%	市民実感調査より
高齢者に占める要介護（支援）認定者の割合	↘	18.2%	18.0% (H29)	22.0%	65歳以上の介護保険被保険者に対する要介護（要支援）認定者の割合（2号を含む）

1 後期重点プロジェクトの取組項目について

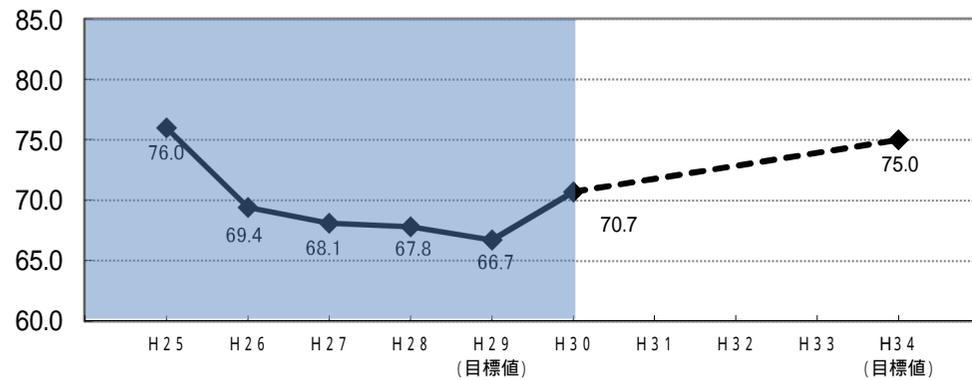
健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合 (%)



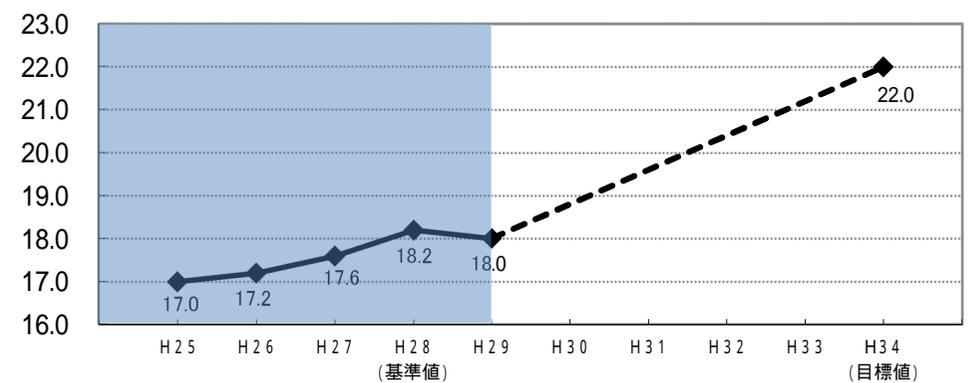
市内の医療環境に満足している市民の割合 (%)



かかりつけ医を持っている市民の割合 (%)



高齢者に占める要介護(支援)認定者の割合 (%)



1 後期重点プロジェクトの取組項目について

プロジェクト3

まちの魅力向上プロジェクト

市民が安全・快適・便利に暮らせるまちづくりを進めるため、都市基盤の整備はもとより、自然環境との調和の取れた良好な住環境を維持・創出し、地域の活性化を図ることでまちの魅力の向上をめざします。

新規事業

オンデマンドモビリティの試験的導入
産業ビジョンの策定
空き家の流通及び土地利活用に向け、除却に係る費用の一部を助成

継続事業

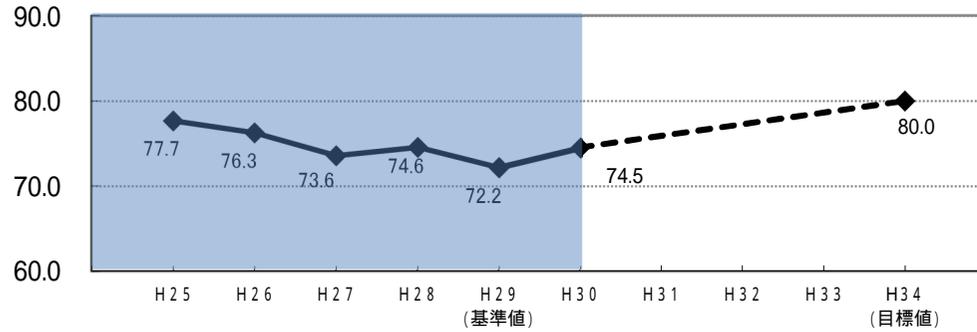
キセラ川西プラザの運営
豊川橋山手線の整備
子育て世帯等への空き家活用リフォーム助成制度の実施
結婚新生活支援助成制度の実施
黒川地区における観光まちづくりの検討
キセラ川西の都市基盤整備
親元近居助成制度の実施

評価指標

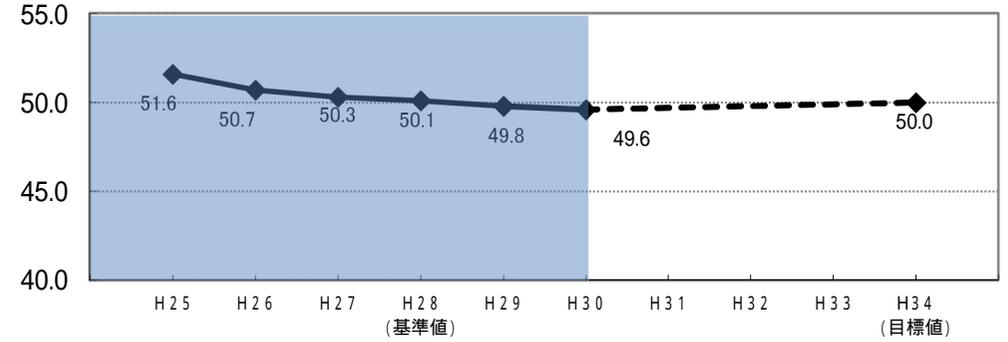
名称	方向性	基準値（H28）	直近値（H30）	目標値（H34）	定義
「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合	↗	72.2% (H29)	74.5%	80.0%	市民実感調査より
ふるさと団地の生産年齢人口比率	→	50.1%	49.6%	50.0%	大和団地、多田グリーンハイツ、清和台地区の生産年齢人口比率
観光客入込数	↗	2,249 千人	2,283 千人 (H29)	2,376 千人	兵庫県観光客動向調査より(うち市内の観光地点及びイベント等を訪れた人数を集計)
自治会やコミュニティ、ボランティアやNPOの地域づくり活動によって、お互いに支え合っていると思う市民の割合	↗	46.2% (H29)	51.0%	70.0%	市民実感調査より
社会移動数転入・転出の均衡	↗	53 人	219 人 (H29)	0 人	各年の転入者数 - 転出者数
市公式シティプロモーションサイトへのアクセス件数	↗	135,413 件	67,185 件	150,000 件	サイトへのアクセス件数

1 後期重点プロジェクトの取組項目について

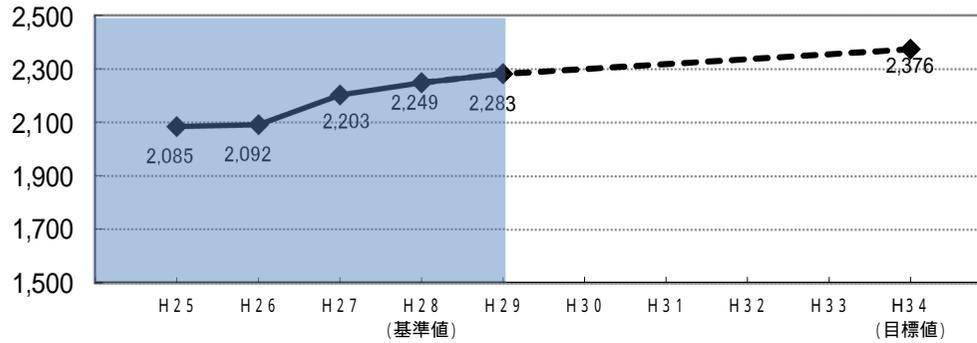
「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合 (%)



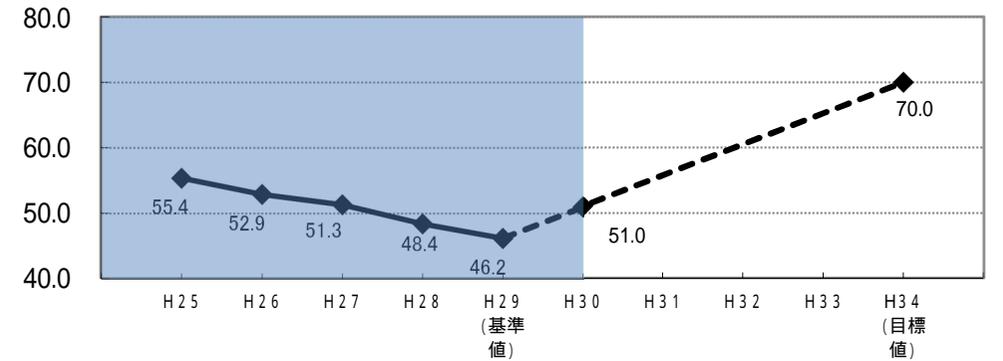
ふるさと団地の生産年齢人口比率 (%)



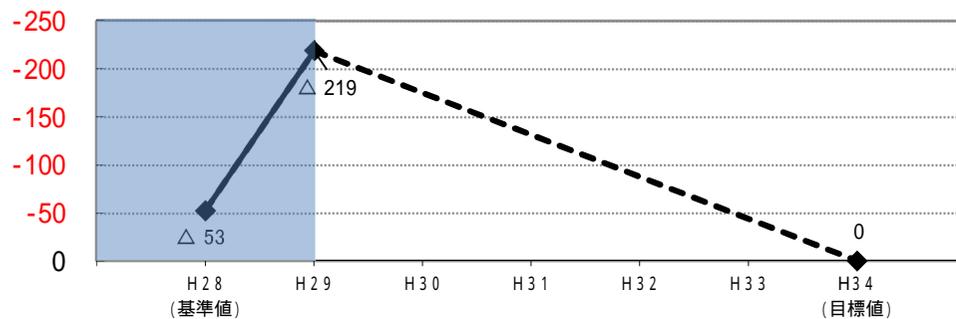
観光客入込数 (千人)



自治会やコミュニティ、ボランティアやNPOの地域づくり活動によって、お互いに支え合っていると思う市民の割合 (%)



社会移動数転入・転出の均衡 (人)



市公式シティプロモーションサイトへのアクセス件数 (件)

